

# なるほど! ザ・ファンド

## Q & A

Vol.244

Q.

債券投資にはどのようなリスクがありますか？

A.

主要なリスクとして、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクやカントリーリスクがあります。

◆ Vol.240では債券には様々な種類があり、債券ごとに期待されるリターンやリスクが異なることをご紹介しました。債券投資は一般的に、株式への投資と比較して、相対的に安定的なリターンが期待されます\*が、債券投資をする際には**期待されるリターンだけでなくリスクについても検討する必要があります**。ここでは、債券投資における主要なリスクについてご紹介します。

\*一般的な利付債の場合です。

### 債券投資における主要なリスク

#### ● 価格変動リスク

内外の経済情勢等の影響による金利変動や債券自体の需給などによって、債券価格は変化します。価格の変動幅は、債券の種類、格付け、残存期間、利払いのしくみの違い等により、債券ごとに異なります。



#### ● 信用リスク

債券の発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合、利払いや元本の返済に不安が高まるため、債券価格が下落します。



#### ● 流動性リスク

市場動向や取引量などの状況によって、取引が出来なかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされる場合、債券価格が下落します。



#### ● 為替変動リスク

外貨建債券の場合、外貨建債券の円換算価格は、為替変動の影響を受けます。為替が円高（円安）に変動した場合には、外貨建債券の円換算価格が下落（上昇）します。



#### ● カントリーリスク

投資対象国特有の事情や出来事によって、重大な損失が生じる可能性があります。特に新興国の場合は、先進国に比べて、金融危機やクーデター、政治体制の変更といった非常事態が生じる可能性が高くなっています。



◆ 債券投資は、安定的なリターンが期待される一方で、リスクが伴います。**期待されるリターンだけでなくこれらのリスクを十分に理解し、債券投資を行うことが重要**です。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

#### 【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

#### ＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の各商品の説明書等を必ずご覧ください。



# 三井住友銀行

株式会社三井住友銀行  
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号  
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会